



准教授 鈴木 敦

スズキ アツシ

大学院工学研究院 機能の創生部門
大学院工学研究院 機能の創生部門
大学院工学府 機能発現工学専攻 物質とエネルギーの創生工学コース
理工学部 化学・生命系学科 バイオ教育プログラム
atsuzuki@ynu.ac.jp

生物学
生物科学

細胞生物学

発生生物学
細胞生物学
発生工学
遺伝学
分子生物学

【研究概要】

マウスを用いて生殖細胞の発生に必須遺伝子を同定し、その機能解析を行う。

【アドバンテージ】

遺伝子改変技術を用いることによって、その遺伝子を欠いたマウスや、逆に、過剰に存在するマウスの表現型を解析できる。

【事例紹介】

組織特異的に発現する遺伝子の制御領域を利用し、その組織に特異的にGFPなどの蛍光蛋白質を発現させることが出来る。

■ 相談に応じられるテーマ

遺伝子改変動物の作製
遺伝子改変動物の解析
蛋白質-蛋白質結合の網羅的解析

■ 主な所属学会

発生生物学会
分子生物学会

■ 主な論文

『Nanos2 suppresses meiosis and promotes male germ cell differentiation.』
[Genes & Development.] 2008/2
『Functional redundancy among Nanos proteins and a distinct role of Nanos2 during male germ cell development.』
[Development.] 2007/1
『Nanos2 蛋白質は生殖細胞の雄性化に必須な分子である。Nanos2は卵と精子の分岐に働く蛋白質.』
[生物の科学遺伝] 2008/9